大臨技ニュース

〒545-0051
大阪市阿倍野区旭町1-1-28ニチマンビル
TEL.06-6647-3454　FAX.06-6644-1128
社団法人　大阪府臨床衛生検査技師会
発行責任者：朝山　均
大臨技ホームページＵＲＬ
http://www.osaka-amt.or.jp/

お　知　ら　せ

検査部門 収支管理講習会のお知らせ

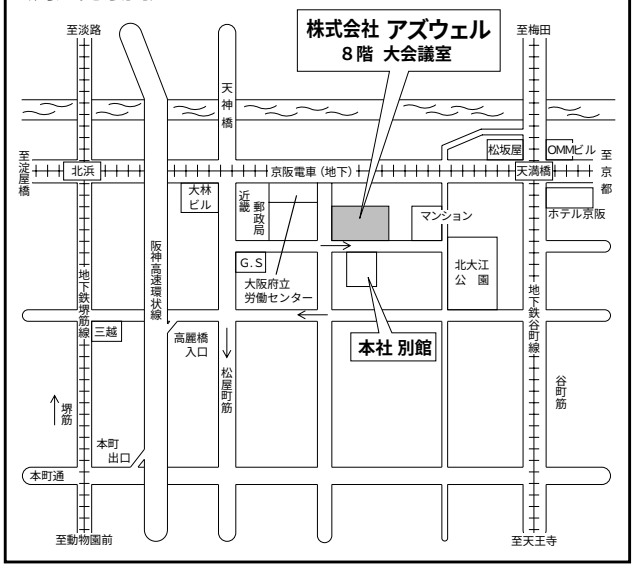
情報組織部

今回はプロジェクターを使用し、モデルデータを用いての説明及びグループディスカッションを行ないます。このような機会は数多くありませんので、まだ収支管理をしたことがない、やり方が解らない、今の方法はあまり実用的でないなどでお悩みの方、興味のある方はどなた様でもご参加ください。

グループディスカッションの関係上、50名様程度の事前登録制とさせていただきます。
また、検査科収支管理ソフトの配付も予定しています。

日　　時：平成14年９月21日(土）14：00～17：00
会　　場：株式会社アズウェル８階会議室
内　　容：モデルデータを用いての説明及びグループディスカッション
会　　費：正会員1,000円、非会員3,000円
評 価 点：Ｃ－15
事前登録法：施設名･連絡先･参加者名を必ずFAXで９月14日(土）までに送付してください。
１施設から複数の方の参加もＯＫです。
問合せ先：情報組織部 東住吉森本病院臨床検査科　運天 政五郎
TEL　06-6702-0010 内線（253）
FAX　06-6702-2640

（周辺見取図）



９　月　の　行　事　予　定

５日(木）血液シニア[血液形態セミナー]
10日(火）微生物ジュニア
12日(木）生涯教育推進講座（臨床化学）
大臨技理事会
13日(金）病理細胞ジュニア[細胞診定期講習会]
18日(水）生理定期[腹部超音波研究会]
19日(木）血清定期[血清検査部会定期講習会]
情報組織部会
20日(金）一般・病理細胞定期
[一般検査部会・病理細胞検査部会共催講習会]
21日(土）近臨技[中級者輸血検査実技講習会]
（事前申し込み不要）
22日(日）近臨技[中級者輸血検査実技講習会]
（事前申し込み制）
24日(火）微生物シニア[微生物定期講習会]
25日(水）渉外部会
28日(土）第１１回 大臨技中央支部生涯教育講演会
微生物定期[微生物基礎技術講座]（事前申し込み制）
29日(日）微生物定期[微生物基礎技術講座]（事前申し込み制）

========　お　知　ら　せ　========
９月26日(木)に予定していました定期講習会は講師の都合により10月３日(木)に順延致します。
年間予定と日程がずれますのでご注意ください。

大臨技学術部臨床化学検査部会のお知らせ
基礎シリーズ

「糖尿病－EBMから見た臨床検査－」

日　時：９月12日(木）18：30～20：00
場　所：大阪市立大学医学部 ４階 中講義室
内　容：１.「糖尿病クリティカルパスへの参画」
臨床検査技師のチーム医療での取り組み
講師：大藪　智奈美　神戸大学医学部附属病院検査部
２.「糖尿病と合併症について」
講師：小杉　圭右　大阪警察病院 内科部長
参加費：500円（非会員　3,000円）
評価点：Ｂ－10点
問い合わせ先：松下記念病院 中央臨床検査部　中島　康仁
ＴＥＬ：06(6992)1231（内線3224）
Ｅ-mail：fwhz2544@mb.infoweb.ne.jp

第11回 中央支部 生涯教育講演会のお知らせ

日　時：平成14年９月28日(土）15：00～17：00
場　所：関西医科大学附属病院　南館７階
内　容：事務所からみた臨床検査技師
－(少し辛口な話を含め同窓会をしましょう)－
講　師：新香里病院　医事課課長代理兼地域医療連携室係長
高砂　直樹
参加費：会員500円、非会員3,000円
評価点：Ａ－10点
問い合わせ先：中央支部支部長　西 時男（市立枚方市民病院）

医学検査 淡路夢舞台セミナー開催される

セミナーは７月13日(土)、14日(日) に兵庫県立淡路夢舞台国際会議場で開催された。このセミナーは従来から開催されていた兵庫・岡山・鳥取による合同研修会を拡大し、今回、兵臨技の主催により中国・四国・近畿合同研修会として催されたものだ。おもな講演内容を報告する。

「新しい病院運営としてのＰＦＩ」（沖 一 氏:高知県･高知市病院組合事務局次長）

昨今の厳しい医療費問題を乗り切るには、医療を産業としてとらえ機能的企業体化していくことが戦略であると述べ、「病院ＰＦＩ事業」もその一つであると結ばれた。

なお、「ＰＦＩ（Private Finance Initiative：プライベート･ファイナンス･イニシアティブ）」とは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法のことで、民間の資金、経営能力、技術的能力を活用することにより、国や地方公共団体等が直接実施するよりも効率的かつ効果的に公共サービスを提供できる事業について実施しようというものである。「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」（ＰＦＩ法）は平成11年７月に制定され、対象となるものは、道路・鉄道・港湾・下水道・公園など公共施設をはじめ、庁舎・公営住宅・教育文化施設・福祉施設・駐車場などのほか、われわれに関係ある医療施設もこれに含まれている。
この方式による医療施設はすでに出来つつあり、ブランチ、ＦＭＳと並んで今後の動向が注目される。

「パネルディスカッション ―21世紀の医療において臨床検査技師が果たすべき役割―」

１）厚生労働省医事課　染谷課長補佐

医療の安全や質に関しては国民の関心が高いにもかかわらず、ミスが多数報告され問題となっている。各医療専門職が医療の質をどのように高めるのか、国民全体に対して医療を通じて、またチーム医療を支える中でどのように貢献すべきかを考えることが重要だと述べた。

２）兵庫県医師会　加古前副会長

平成12年21世紀の医療従事者教育について、日本医師会が答申した。そのなかで、検体検査とはいえ、遺伝子検査、輸血検査などプライバシーに関連する高度な検査などを行うためには国家試験を受けた臨床検査技師が適しており、無資格者が検体検査を実施すること、現在届出だけで取得できる衛生検査技師が必要かどうか検討すべき時期に来ていると意見を述べた。

これからの臨床検査技師は臨床支援を積極的に行うべきである。臨床検査技師は異常値を判断することで臨床に関わってほしい。また、医療専門職の中で臨床検査技師は経営への参画に最も適した職種であるといっても過言ではない。

３）神戸商工会議所　家次副会頭

臨床検査技師にとっては仕事の中身の統合再編が加速されるだろう。診療部門、事務部門、経営部門、他のコメディカルにどのようにかかわるかが問われる。現在は単にコストダウンだけを目的に物事が進められており、検査そのものの価値をどのように捉えるかの視点が弱いように思う。現在、アウトソーシングによる単純なコスト効果を求めているが、国民の健康をどのように守り、そのためにどのように統制していくかのビジョンが見えにくい。今後もさらに検査部門への収益性の要求や、検査の有用性を明確化することが強く求められるようになる。

予防、診断、治療手段の多様化、診療支援から治療支援への拡がりなどにより、検査市場が拡大すると予想している。集中すべき検査、分散すべき検査、新たな検査を見据えた上で、これらの検査の機能分担をＩＴ化によって進めていくことが重要だ。ＩＴ化は検査の集約、分散化、および情報の共有を実現するための有効な手段だ。経営的に21世紀の臨床検査技師に求められるのは、検査の価値を創造し（高度化）、いかに業務を効率化する（数をこなす）かということだ。いいかえればその能力が施設内の確固たる存在価値につながる。

４）日臨技　岩田会長

日臨技の基本的方針を述べた。そして特にわが国の臨床検査技師教育制度は近代国家にありながら、大学教育化が実現していないため、これが社会的評価にも影響しているのではないかと述べた。

「臨床検査セミナー」

メーカー主催のセミナーが３会場に分かれて開催された。

（文責：副会長　今井、常務理事　近藤）

お　知　ら　せ

平成14年10月20日～25日に第18回国際臨床化学会議（組織委員長： 宮井潔大阪大学名誉教授）が国立京都国際会館で開催されます。また10月21日～23日まで同場所で第42回日本臨床化学会年会（年会長：関西医大高橋伯夫教授）が開催されます。ふるってご参加ください。

なお、第18回国際臨床化学会議のほうでは学会運営協力者を募集しています。学会運営協力者には全日登録者で最大４万５千円、１日登録者で最大１万円が支給されます。両学会ともに詳細は下記事務局にお問い合わせください。

事務局　　電話： 06-6873-2301、FAX：06-6873-2300　E-mail： iccckyoto@bcasj.or.jp

第39回 日本臨床神経生理学会（旧・日本脳波筋電図学会）技術講習会のお知らせ

大会長／福島県立医科大学医学部神経精神医学講座　丹波　真一
副会長／福島県立医科大学医学部整形外科学講座　菊池　臣一
会　期：2002年11月11日（月）・12日（火）
会　場：サンパレス福島（〒960-8101　福島市上町4-30　TEL：024-523-3811）
　　福島テルサ　（〒960-8101　福島市上町4-25　TEL：024-521-1500）
テーマ：「臨床神経生理学の進歩ー基礎と実際のup date」

========== 申 し 込 み 方 法 ==========

■参加費：前　納　10,000円（テキスト代を含む）
　　当日参加　12,000円（テキスト代を含む）
■参加申し込み方法：郵便振替口座にて、下記の口座にお振込みください。
　　口　座　名　称：第39回日本臨床神経生理学会技術講習会
　　口　座　番　号：02270-7-97050
　　申し込み締切日：平成14年10月20日
■事務局（問い合わせ先）
　　〒960-1295　福島県福島市光が丘１番地
　　福島県立医科大学医学部神経精神医学講座
　　TEL：024-548-2111（EX．2431，2432）　FAX：024-548-6735
　　E-mail：jscn32@fmu.au.jp　URL：http://www.congre.co.jp/jscn2002

特典
１．第39回日本臨床神経生理学会技術講習会終了証
２．第32回日本臨床神経生理学会学術大会聴講
３．日本臨床衛生検査技師会生涯教育クレジット点数10点（自己申告）

生　理　機　能　講　習　会

①心エコー実技講習会
日　時：10月５日(土)
　　14：30〜17：30
場　所：関西医大病院中検
講　師：部会世話人ほか
参加費：5,000円
対　象：初心者の方
　　（これから始める方、経験年数約１年未満の方）
定　員：約20名

②生理部会一泊研修会
日　時：11月２・３日(土･日)
場　所：みのお山荘
コース：心電図コース、UCGコース、腹部エコーコースで各10名程度（一部実技含む）
講　師：部会世話人ほか
参加費：18,000円（宿泊費、食費、研修会費すべて込み）
対　象：いずれも初心者

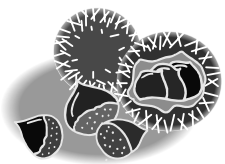
申し込み方法（心エコー、一泊研修会ともに）

往復ハガキに研修会名、氏名、会員番号、施設名、年齢、経験年数、連絡先（〒、住所、電話番号、内線、メールアドレス等）、一泊研修会は希望コース（第二希望まで）と返信用の表に返信先、住所、氏名、〒を明記のうえ

〒545-8586（住所不要）
大阪市大病院中検　藤岡 一也 宛
締め切り：
心エコー実技は９月13日(金) 必着
一泊研修会は10月10日 必着です

注意：先着順に受付をしますが、応募者多数で同一施設から複数参加希望される場合には調整の上１名のみにさせていただく場合がありますので、あらかじめ相談の上優先順位を付記してください。（記入不備の場合はお断りすることが有りますのでご注意ください）

手話講演会のお知らせ



テーマ：聴覚障害者への理解・はじめの一歩
日　時：2002年10月19日(土) 14：00〜16：00
場　所：とよなか男女共同参画推進センター「すてっぷ」
　　阪急宝塚線豊中駅下車すぐ（阪急梅田駅より急行で11分）
保　育：４歳以上のお子様は当部会の世話人がお世話しますので、ご相談ください。
問い合わせ先：072-229-4882　内線（340）
　　浅香山病院 中央臨床検査室　北川　富貴子

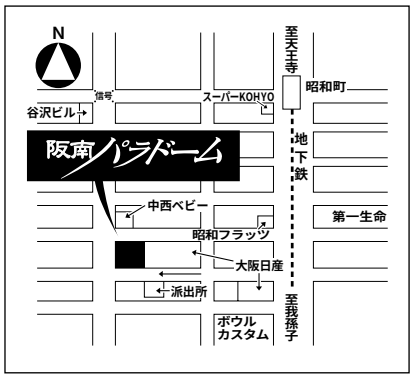
会員交流会のお知らせ

地区事業部・情報組織部

次のとおり会員交流会を行います。何かときびしい昨今ですがボウリングをして汗を流し、すっきりした後で場所を変えて懇親会で盛り上がりませんか？あまり交流のない技師とは親しくなるきっかけを。親しい技師とはさらに親しくなれるように企画しました。会費は３千円です。

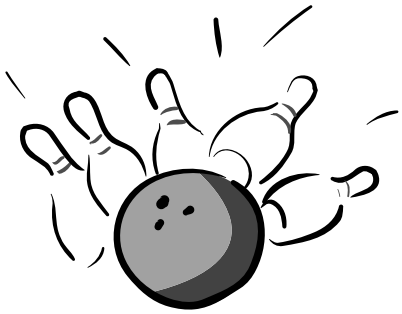
遊ぶ仲間、情報を交換出来る仲間、困ったときに相談にのってくれる仲間を増やすいい機会です。未だ技師会に入っていない方も大歓迎しますのでお誘い合わせの上ふるってご参加ください。

日　時：平成14年11月２日（土）
　　14：30〜20：00
場　所：阪南パラドーム４階に集合
　　大阪市阿倍野区阪南町２-22-15



ＴＥＬ：06-6623-7512
申込み：平成14年９月30日（月）迄に下記支部長へ電話またはＦＡＸでお申込みください。問い合わせ先も同じです。

北支部　支部長　相馬　英一
（大阪第２警察病院
TEL 0726-43-6921）
中央支部　支部長　西　時男
（市立枚方市民病院
TEL 072-847-2821）
南支部　支部長　中江　健一
（近畿大学病院
TEL 072-366-0221）



気になるギモンにお答えします！ Q&A

Q 免疫グロブリンについて

免疫グロブリンについて調べています。急性のウイルス感染の場合免疫グロブリンはどのような変化があるのでしょうかまた、胃腸炎ウイルスの感染（成人重症）の場合には、異常値となるのでしょうか。
もしくは、詳しい文献があれば、発行元と文献名称を教えてもらえないでしょうか。
よろしくお願いします（匿名）

A 変化があるとは限りません。

急性のウイルス感染の場合の免疫グロブリンの変化ですが、一般的に最初にIgM抗体産生があり、のちにIgGが続き、慢性化するとIgAが産生されるとされています。しかし、これは、そのウィルスに対する特異的な抗体についての話です。質問の意味は、特異的な抗体でなく、普通にルーチンで測定されているIgG，IgA,IgMの事を言っておられると思います。結果的に言って変化があるとは限りません。IgG,IgA,IgMの基準範囲は広く、急性のウイルス感染だからといってIgMが基準範囲を越えるとは限りません。感染前の患者のデータと比べれば少し上昇が認められるかもしれません。

胃腸炎ウイルスの感染（成人重症）の場合には、異常値となるのかどうかですが、もし、胃腸から体液が漏出していたら、IgG,IgA,IgM共に低下するでしょう。また、そのウィルスに以前かかったことがある場合、消費されるために一時的に低下することも考えられます。急性期にはIgMが上昇する場合もあるし、変化のない場合もあるでしょう。IgAは外来抗原の侵入を粘膜という門戸において防御する機能と侵入したものは全身性の拡大を防止するように働くので、慢性化してIgAのみ上昇する場合もあるし、変化のない場合もあるでしょう。IgGも上昇する場合もあるし、変化のない場合もあるでしょう。

さて、現在知られている主な胃腸炎ウィルスは、ロタ、アデノウィルス、ノーウォークウィルス、サッポロウィルス、アストロウィルスの５種類です（文献①）。成人ではノーウォークウィルスが大部分を占めます。診断法は酵素免疫測定法（ELISA）や電子顕微鏡法（EM）やポリメラーゼ連鎖反応（PCR）ですが、これらは普通の病院では行っていません。また、特異抗体を測定する試薬も販売はされていないようです。そのような背景から、質問者は免疫グロブリンで経過を見ようと考えられたのかもしれません。腹部レントゲンでは、小腸ガス等の異常を認める場合が多く（文献②）、その関連で質問されたものと思います。質問に正確に答えられたかどうかわかりませんが、参考にしてください。

文献①）中田修二：ロタウィルス・ノーウォークウィルス（SRSV）感染症。
小児科臨床　64:1066-1071、2001.

文献②）和泉桂子他：1995年末埼玉県南部で流行したノーウォーク関連ウィルスによる急性胃腸炎の臨床的検討。
臨床とウィルス　27:133-137、1999.

（大阪府立母子保健総合医療センター
検査科　宮野　章）

リレーエッセイ バトンタッチ

笑　顔

先日テレビで、ある量販店売上げ１位店員の秘密を検証していた。
その店員の“監視をしていないように見せる態度”、“声の掛けるタイミング”、“お客様の疑問解消”など売上を伸ばすための秘訣に「ふ～んなるほど」と思わされた。しかし、私はやはり店員の「笑顔」がとても印象的だった。

笑顔はとても大事だと思う。職種は別であっても人と接する部分は同じで、人と人とのつながりが一番大事になる基本はやっぱり「笑顔」だなって改めて感じた。

ところで、自分の職場はどうだろうか？って思い返してみると、「う～ん」と首を傾げてしまうところも多々ある。笑顔って簡単なようで、本当に難しい。自分も職場内でいつでも笑顔を出せるようにするには、まだまだ精進する必要がありそうだ。

（結核予防会大阪府支部　岡部　文雄）

厚生労働大臣感謝状を授与される

（８月１日大阪ＫＫＲホテル）

渉外部　清水　隆之

このたび、献血推進活動の功労により厚生労働大臣感謝状を受け、職能団体としての活動が認められました。会員、世話人の皆様の長年にわたる協力に感謝いたします。しかし、今夏の献血推進活動のボランティア参加者は、最盛期の約半数と少なく、これからの活動に不安を感じる状態でした。職能団体の名に恥じぬよう活動するには、皆様の積極的な参加が必要です。これからもご協力お願いします!!!!

ベックマン･コールター株式会社

今月のいちおし

ベックマン･コールター㈱
搬送ライン不要の
血液検査自動化

COULTER LH700 シリーズ

ベックマン・コールター㈱は、大型施設向け主力機種として2002年2月にコールターLH700シリーズを世界同時発売いたしました。LH700シリーズは、コールター原理に代表される実績あるテクノロジーに、最新血液分析とフローサイトメトリーの技術を融合し、血液検査の完全自動化を実現しました。洗練された「新ワークフロー」と「コールターテクノロジーの多彩な新機能」により新しい検査環境をご提供いたします。

新ワークフロー

新ワークフローのコンセプトは、検査室運営の費用対効果を向上させる搬送ライン不要のモジュールシステムによる血液検査自動化です。搬送システム特有の移動時間や待ち時間が存在しないため、ＴＡＴ（検査結果報告時間）が大幅に短縮できます。この結果、コストとスペースを要する大型搬送システムを導入せずに一連の業務の完全自動化が実現できます。

- ●ワンショットアスピレーションテクノロジー
- ●リアルタイム・ランダムアクセス
- ●デシジョンサポートシステム
- ●ＳＭモジュール／ＳＴモジュール

コールターテクノロジーの多彩な新機能

- ●**アキュゲイトテクノロジー**：白血球分類では、FCMメソッドによる新解析アルゴリズムを搭載し、芽球のタイプスクリーニングを可能とします。
- ●**アキュカウントテクノロジー**：新しいパルス取得方法で測定レンジを大幅に拡大し、より正確な細胞数・細胞体積情報が得られます。
- ●**インテリカイネティックステクノロジー**：試薬分注量・処理時間を最適な状態に自動調整して細胞情報を取得します。
- ●**アキュフレックステクノロジー**：白血球分類のゲーティング感度を施設の目視法にカスタマイズし、最適な再検率調整を行ないます。
- ●**ＮＲＢＣ測定**：専用試薬不要で、NRBC検出およびWBC補正を自動的に行ない、再検を軽減します。

事務局から

1. 平成14年度会費納入が未納の方は，できる限り早い時期に納入してください。
詳細は**大臨技ニュース156号（1月）、157号（2月）**をご覧ください。

2. 会員の「継続」、「入会」、「異動」などの届出は、日臨技ホームページのJAMTIS、または所定用紙の郵送でお願いします。**TEL、FAXでの届出はご遠慮ください。**
なお、JAMTISによる届出方法に関する詳細、所定の郵送用届出用紙の綴じ込みは、**会誌「医学検査2002年1月号Vol.51、NO.1」「大臨技会報185号」**に掲載されています。

3. 「会員証」「パスワード」の再発行も同様です。特に会員証再発行は有料（300円）ですのでご了承ください。

Cool Down

最近は大体の人が携帯電話を持っているだろう。機種もどんどん目まぐるしく変わっていき、私などは新しい機種の発売広告を見るたびに、早くポイントたまらないかなぁと思ってしまう。私のポイントがたまる頃には、きっと今よりもっと立派な機能がついてるものが出ていることだろう。だが機種の展開よりもっと早いものがある。ユーザーの利用意欲を掻き立てるもの、着メロである。

着メロも今は膨大な曲数が展開されている。しかもかなり音に厚みがあってゴージャスなのだ。誰かの携帯の着信音が聞こえると「あ、これは○○の曲だ！」とつい聞き入ってしまう。こないだホームで誰かの携帯が鳴ったのだが、どうやらワンギリだったらしく、１秒くらいしか鳴らなかった。これだと何の曲かわからない。まるで超ウルトライントロどん！ではないか。着メロも一昔前は今ほどダウンロード曲数もなかったので、誰かと曲がかぶることがあった。私は他の人と重複したくなかったので、自分の耳で音を拾って入力したものを今も使っている。私の通話着信音は大阪環境事業局、メール着信音はカラリオのＣＭの“知らなーいー奴には見せてやる～”の部分だ。着メロサイトにあがっているような立派なものではないが、今でも私と同じ曲の着信音に出会ったことはない。

でもそろそろ飽きてきたので、街の音にヒントを探しつつ、いいネタを検討中である。　（今田　晶子）

演題申し込みはWebで！

http://jamtis.jamt.or.jp/jamtis/

JAMTIS（日臨技総合情報システム、URL http://jamtis.jamt.or.jp/jamtis/）ではインターネットによる演題申し込みが行えます。

多数の学会でも採用されているようにインターネットによる演題申し込みの特徴は、何と言っても手軽さにあります。演題申込書・抄録原稿などの作成や郵送の手間がかからず、誰でも簡単に演題および抄録原稿の登録ができます。

第52回日本医学検査学会（平成15年５月16日～17日、さいたま市）ではインターネットによる演題受付を平成14年９月10日から11月８日まで行っています。申し込み方法や実際の登録方法など詳しくは「医学検査９月号」に掲載されていますので、よく読んでからJAMTISにアクセスして演題申し込みを行ってください。

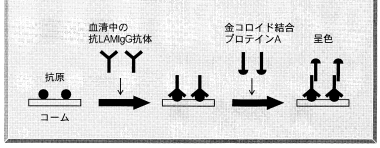
活動性抗酸菌症の診断に有効

抗抗酸菌（Lipoarabinomannan）抗体検出試薬キット

「マイコドット」
MycoDot

特徴
1. 血清中の結核菌及び非定形抗酸菌による抗体を検出します。
2. 金コロイド免疫測定法を用い簡便、迅速な検査が可能です。（所要時間20分）
3. 特別な装置・器具を必要としません。
4. 排菌陰性症例でも高い陽性率を示します。（陽性率69％）

測定原理
固相化抗原（Lipoarabinomannan=LAM）と結合した血清中の抗抗酸菌（LAM）抗体が、金コロイド結合プロテインAと反応し呈色（淡紅色）する。



〔資料請求先〕
Wako 和光純薬工業株式会社 臨床検査薬 カスタマーサポートセンター
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-5-13　電話：03-3270-9134（ダイヤルイン）

皆さんのご意見、情報等お待ちしております。

FAX：06-6644-1128　E-mail：imai@osaka-amt.or.jp

郵送の場合は大臨技事務所までご送付ください。